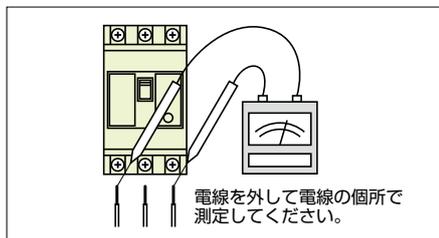


## 絶縁測定時の注意事項(単3中性線欠相保護付)

下表の△印の絶縁測定は、測定しても故障しませんが、内部回路により絶縁抵抗計の指示値はほとんど零です。

線間の絶縁測定を行う場合は、端子から電線を外して電線の箇所測定してください。

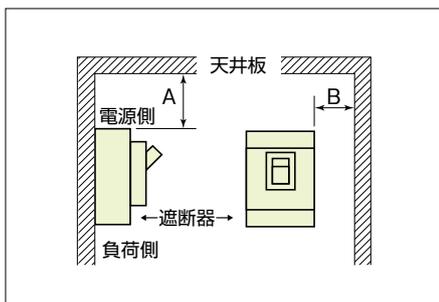


ハンドルの状態	絶縁抵抗測定(500V以下)			
	漏電遮断器		単3中性線欠相保護付 配線用遮断器・漏電遮断器	
	ON	OFF	ON	OFF
充電部—大地間	○	○	○	○
左—中、中—右極間	○	○	△(注1)	△(注1)
左—右極間	電源側	△	○	○
	負荷側	△	△	△
電源—負荷端子間	—	○	—	○

(注1)過電圧検出リード線を外して測定可能。

## 電源側の絶縁距離(アークスペース)

遮断器が大電流を遮断したとき、電源側の排気孔からアークガスが噴出します。この排気孔のすぐ近くにしゃへい物や導電材があるとこの部分でアークによる短絡や、地絡事故を起こす可能性があります。このため遮断器取付にあたっては表に示す絶縁距離が必要です。

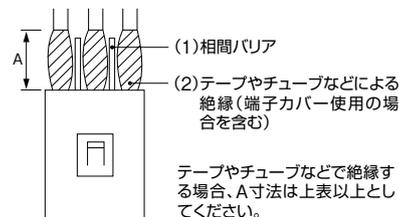


### ■遮断器電源側絶縁距離

( )内の寸法は400V級の場合です

区分	フレーム	最小寸法(mm)	
		A	B
1	30Aフレーム 50Aフレーム (B-52、53、54FKAを除く) 60Aフレーム	30	25
2	B-52、53、54FKA 100A、150Aフレーム	40 (60)	40
3	225Aフレーム 250Aフレーム	50 (100)	40
4	400Aフレーム 600Aフレーム 800Aフレーム	80 (110)	50
5	1000、1200Aフレーム 1600、2000Aフレーム 2500、3200Aフレーム	150 (190)	100

■遮断器電源側の裸導体間は、相間バリアまたはテープやチューブなどで絶縁してください。(1)または(2))



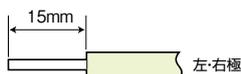
## 安全ブレーカ、GB-1ZA・2ZA・2EAのソルダレス端子への直付接続

- より線はほぐして、心線をそろえてから接続してください。
- より線のハンダ上げやバンドはしないでください。
- 電線の絶縁被ふくをかまないように接続してください。
- 機器用電線など、3.5mm<sup>2</sup>以下の細いより線を使用する場合は、棒圧着端子をご使用ください。
- 電線ストリップ寸法



## パールテクトブレーカ、パールテクト漏電ブレーカの接続方法

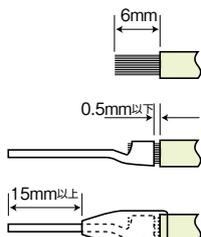
### 1. 単線の場合



### 2. より線の場合

[棒圧着端子接続方法]

- 電線の被覆を6mm剥離します。
- 棒圧着端子に電線を通し、圧着します。
- 棒圧着端子に絶縁キャップを取り付けます。



より線サイズ	適合棒圧着端子使用
1.25mm <sup>2</sup> 2.0mm <sup>2</sup>	TC 2-20(棒圧着端子) VC 1-2(絶縁キャップ) 【ニチフ製】
3.5mm <sup>2</sup> 5.5mm <sup>2</sup>	TC 5.5-21ST(棒圧着端子) VC 5.5-21(絶縁キャップ) 【ニチフ製】 (30AIに標準付属)

接続可能電線: φ1.6・φ2.0・φ2.6 Cu(銅)単線専用

(注)30AIはφ2.6の単線、より線の場合は指定の棒圧着端子を接続してください。(より線の場合は棒圧着端子使用)

### ■適合圧着工具

ニチフ製NH1、NH9、NA3(NA37)または同等品